



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 中国塗料株式会社

上場取引所 東

コード番号 4617 URL <http://www.cmp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植竹 正隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 友近 潤二

TEL 03-3506-3951

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

平成29年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	39,855	△5.2	2,285	△19.6	2,465	△12.4	1,467	△1.5
29年3月期第2四半期	42,039	△29.4	2,842	△43.5	2,813	△49.6	1,489	△57.3

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 1,637百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △4,889百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	22.41	—
29年3月期第2四半期	22.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	123,511	79,030	59.3	1,117.89
29年3月期	122,058	78,169	59.4	1,107.57

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 73,226百万円 29年3月期 72,550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
30年3月期	—	9.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 記念配当 2円00銭 (創業100周年記念配当)

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	△2.9	4,100	△25.1	4,300	△29.2	2,500	△31.4	38.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	69,068,822 株	29年3月期	69,068,822 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	3,565,210 株	29年3月期	3,565,050 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	65,503,740 株	29年3月期2Q	65,770,523 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧米金融政策の出口戦略や東アジアにおける地政学的リスクなどの変調要因を抱えつつも、先進諸国で底堅い回復局面が続き、中国も安定成長に向けて一定の景気下支え策を講じたことから、広域にわたり緩やかな拡大基調を維持しました。

当社グループを巡る環境としましては、前年度に落ち込んだ船舶修繕需要の一部で戻りがあり、コンテナ分野でもコンテナボックスの生産調整が一巡し、市況の回復が見られました。その一方、工業分野は中国で伸び悩み、また船腹過剰を背景に調整局面が続く新造船市場で需要の一段の後退があったことから、これが全体を下押しする結果となりました。

このような経営環境の下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は39,855百万円（前年同期比5.2%減）となり、売上低下に伴い、営業利益は2,285百万円（同19.6%減）、経常利益は2,465百万円（同12.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,467百万円（同1.5%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

工業用塗料の販売が僅かに上向いたものの、主力の船舶用塗料の販売が修繕向けと新造船向けの双方で低調であったことから、売上高は17,325百万円（前年同期比1.7%減）となりました。セグメント利益は、売上減と原価率の上昇等により、708百万円と861百万円の減益（同54.9%減）になりました。

② 中国

コンテナ用塗料需要が底打ちに転じ、かつ船舶修繕需要でも持ち直しが見られた一方、中国造船業の建造遅延等調整局面が続き、かつ工業用塗料の需要も低迷したことから、売上高は7,623百万円（同11.2%減）となりました。一方、セグメント損失は、販売管理費の低減等により、126百万円（前年同四半期はセグメント損失293百万円）と167百万円改善しました。

③ 韓国

韓国造船業が調整色を強めたことから、売上高は3,152百万円（同42.9%減）となり、セグメント利益は、費用の削減に努めたものの売上の減少を補うには至らず、183百万円と229百万円の減益（同55.5%減）になりました。

④ 東南アジア

前年同期に不調であった船舶修繕需要に一部戻りがあったことから、売上高は5,472百万円（同10.0%増）となり、セグメント利益は807百万円と36百万円の増益（同4.7%増）になりました。

⑤ 欧州・米国

前年同期に不調であった船舶修繕需要に一部戻りがあったことから、売上高は6,282百万円（同17.7%増）となり、売上増に伴い、セグメント損失は34百万円（前年同四半期はセグメント損失385百万円）と351百万円改善しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ1,453百万円増加の123,511百万円となりました。

① 資産

流動資産は前連結会計年度末に比べ、1,525百万円増加の85,527百万円となりました。主な増加要因は、商品及び製品の増加（1,194百万円）であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、72百万円減少の37,984百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産その他の減少（160百万円）や貸倒引当金の減少（52百万円）、投資有価証券の増加（45百万円）であります。

② 負債

流動負債は前連結会計年度末に比べ、1,254百万円増加の37,755百万円となりました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金の増加（1,228百万円）であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、663百万円減少の6,724百万円となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少（664百万円）であります。

③ 純資産

純資産は前連結会計年度末に比べ、861百万円増加の79,030百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などによる利益剰余金の増加（812百万円）や為替換算調整勘定の減少（192百万円）であります。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は27,929百万円と前連結会計年度末に比べ473百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、2,112百万円となりました。主な増加は、税金等調整前四半期純利益2,466百万円、仕入債務の増減額1,188百万円であり、主な減少は、たな卸資産の増減額1,518百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは、1,832百万円となりました。主な増加は、定期預金の払戻による収入10,222百万円であり、主な減少は、定期預金の預入による支出11,123百万円、固定資産の取得による支出958百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは、335百万円となりました。主な増加は、短期借入金の純増減額432百万円であり、主な減少は、非支配株主への支払いを含めた配当金の支払額780百万円です。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,918	37,135
受取手形及び売掛金	32,604	32,000
有価証券	186	405
商品及び製品	7,830	9,024
仕掛品	456	412
原材料及び貯蔵品	5,770	6,172
繰延税金資産	1,064	994
その他	1,288	1,089
貸倒引当金	△2,117	△1,707
流動資産合計	84,001	85,527
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,538	8,251
機械装置及び運搬具(純額)	3,099	4,674
土地	13,180	13,189
その他(純額)	3,008	717
有形固定資産合計	26,826	26,833
無形固定資産	1,427	1,397
投資その他の資産		
投資有価証券	8,382	8,428
退職給付に係る資産	80	74
繰延税金資産	548	567
その他	1,947	1,786
貸倒引当金	△1,156	△1,104
投資その他の資産合計	9,802	9,753
固定資産合計	38,056	37,984
資産合計	122,058	123,511

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,645	12,874
短期借入金	17,356	17,677
1年内返済予定の長期借入金	31	713
未払金	2,743	2,592
未払法人税等	836	510
賞与引当金	120	245
役員賞与引当金	-	20
製品保証引当金	289	295
その他	3,475	2,827
流動負債合計	36,501	37,755
固定負債		
長期借入金	2,706	2,042
長期未払金	100	105
繰延税金負債	604	585
再評価に係る繰延税金負債	2,252	2,252
退職給付に係る負債	1,356	1,364
その他	367	375
固定負債合計	7,387	6,724
負債合計	43,889	44,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,626	11,626
資本剰余金	7,783	7,783
利益剰余金	49,045	49,858
自己株式	△1,702	△1,702
株主資本合計	66,752	67,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,109	2,139
土地再評価差額金	3,863	3,863
為替換算調整勘定	△31	△224
退職給付に係る調整累計額	△143	△118
その他の包括利益累計額合計	5,797	5,660
非支配株主持分	5,618	5,804
純資産合計	78,169	79,030
負債純資産合計	122,058	123,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	42,039	39,855
売上原価	28,217	27,711
売上総利益	13,821	12,144
販売費及び一般管理費	10,979	9,859
営業利益	2,842	2,285
営業外収益		
受取利息	115	145
受取配当金	190	139
受取ロイヤリティー	38	39
技術指導料	39	52
その他	160	156
営業外収益合計	544	534
営業外費用		
支払利息	167	150
為替差損	330	143
その他	74	58
営業外費用合計	572	353
経常利益	2,813	2,465
特別利益		
固定資産売却益	2	3
特別利益合計	2	3
特別損失		
固定資産売却損	0	1
投資有価証券評価損	29	-
会員権評価損	2	-
貸倒引当金繰入額	3	-
特別損失合計	35	1
税金等調整前四半期純利益	2,780	2,466
法人税、住民税及び事業税	909	721
法人税等調整額	39	6
法人税等合計	949	727
四半期純利益	1,831	1,739
非支配株主に帰属する四半期純利益	341	271
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,489	1,467

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	1,831	1,739
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△253	30
為替換算調整勘定	△6,488	△157
退職給付に係る調整額	21	25
その他の包括利益合計	△6,720	△101
四半期包括利益	△4,889	1,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,486	1,330
非支配株主に係る四半期包括利益	△402	307

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,780	2,466
減価償却費	852	850
のれん償却額	13	13
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	142	△451
その他の引当金の増減額 (△は減少)	88	144
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△21	6
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	36	44
受取利息及び受取配当金	△305	△285
支払利息	167	150
為替差損益 (△は益)	23	19
投資有価証券評価損益 (△は益)	29	-
固定資産除売却損益 (△は益)	6	0
売上債権の増減額 (△は増加)	5,586	707
たな卸資産の増減額 (△は増加)	309	△1,518
未払又は未収消費税等の増減額	200	△155
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,738	1,188
その他	△789	△342
小計	7,383	2,840
利息及び配当金の受取額	302	276
利息の支払額	△169	△149
法人税等の支払額	△1,444	△855
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,071	2,112
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,396	△11,123
定期預金の払戻による収入	7,317	10,222
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	5	8
固定資産の取得による支出	△1,464	△958
固定資産の売却による収入	3	27
投資有価証券の取得による支出	△7	△7
その他	△44	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,586	△1,832
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	535	432
長期借入れによる収入	-	50
長期借入金の返済による支出	△29	△32
自己株式の取得による支出	△501	△0
配当金の支払額	△595	△654
非支配株主への配当金の支払額	△207	△126
その他	△6	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△805	△335
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,320	△417
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△640	△473
現金及び現金同等物の期首残高	26,828	28,403
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,187	27,929

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	韓国	東南アジア	欧州・米国	合計
売上高						
外部顧客への売上高	17,620	8,584	5,522	4,973	5,338	42,039
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,611	1,817	160	1,394	344	5,328
計	19,232	10,402	5,683	6,367	5,682	47,368
セグメント利益又は 損失(△)	1,569	△293	413	771	△385	2,075

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント合計	2,075
セグメント間取引消去	1,326
全社費用(注)	△559
四半期連結損益計算書の営業利益	2,842

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	韓国	東南アジア	欧州・米国	合計
売上高						
外部顧客への売上高	17,325	7,623	3,152	5,472	6,282	39,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,832	2,676	225	1,636	391	6,762
計	19,158	10,299	3,377	7,108	6,673	46,618
セグメント利益又は 損失(△)	708	△126	183	807	△34	1,540

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント合計	1,540
セグメント間取引消去	1,254
全社費用（注）	△509
四半期連結損益計算書の営業利益	2,285

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足情報

販売実績

前第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

（単位：百万円）

	日本	中国	韓国	東南 アジア	欧州 ・ 米国	計
船舶用塗料	14,340	5,949	5,497	2,766	5,044	33,597
工業用塗料	3,114	791	25	1,898	189	6,020
コンテナ用塗料	—	1,842	—	308	104	2,255
その他	165	—	—	—	—	165
計	17,620	8,584	5,522	4,973	5,338	42,039

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

（単位：百万円）

	日本	中国	韓国	東南 アジア	欧州 ・ 米国	計
船舶用塗料	13,970	4,729	3,072	3,130	5,985	30,888
工業用塗料	3,190	494	79	2,070	203	6,039
コンテナ用塗料	—	2,399	—	271	93	2,764
その他	164	—	—	—	—	164
計	17,325	7,623	3,152	5,472	6,282	39,855

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。